B.LEAGUE
クラブ決算概要　発表資料
（2018-19シーズン）

2019.11.25

00

決算発表の概要

00-1　決算発表の目的・前提

決算発表の目的

- 情報を積極的に開示しスポーツ界全体の発展に役立てる
- クラブの透明性を高めステークホルダーからの信頼を向上させる
- 他クラブの状況を把握しクラブ経営の改善に利用する

本資料の前提

- 2018-19シーズン(2018年度)の決算情報である
- ３月決算など決算期間とシーズンが同じでないクラブがある
  【A東京・SR渋谷・川崎・新潟・三遠・三河・名古屋D・大阪・山形・FE名古屋】
- Ｂ1、Ｂ2の区分は2018-19シーズンである

※一部端数調整の関係で合計数が一致しない箇所がございます。

- 川崎はクラブ運営を2018年7月に現会社へ承継しており、数値には承継前3カ月間のクラブ運営にかかる収入・一部費用等が含まれていない

00-2 決算発表のサマリー

昨年度決算実績（2018-19）

- 営業収入（2018－19シーズン）：**221億円**（B1:166億円 B1平均：9.2億円 B2：54億円 B2平均：3.0億円）
- 営業収入はB.LEAGUE発足前に比べて**2.7倍**
- 営業収入成長率：**+13.2%**（B1:14.5% B2：9.7%）
- 営業収入12億円超クラブ：**5クラブ** ※宇都宮・千葉・A東京・三河・大阪
- 2026年ライセンス新基準(平均入場者数4,000人、営業収入12億円)超クラブ：**2クラブ** ※宇都宮・千葉
- バスケ業界全体(※①)の営業収入は目標(※②)に対し、**2シーズン前倒し**で**308億円**を達成

※①バスケ業界全体(B.LEAGUE（リーグ・クラブの合計）とJBAの合計)

※②目標：2020-21シーズン終了時営業収入300億円

今年度決算見込（2019-20）

※2019年6月時点での2019年度決算見込

- 営業収入（2019－20シーズン）：**258億円**（B1:193億円 B2：65億円）
- Ｂ１クラブ営業収入平均：**10.7億円**
- 営業収入成長率：**+17.2%**（B1:15.9% B2：21.3%）
- 営業収入はB.LEAGUE発足前に比べて**3.1倍**
- Ｂ１選手基本報酬平均：**1,610万円**（昨対比＋22.9%、開幕時から約2倍）

01

クラブ決算数値

01-1 決算数値_リーグ全体

- 入場者数は全体で **259万人**
- 営業収入は全体で **221億円**
- バスケ業界全体(※①)の営業収入は目標(※②)に対し、**2シーズン前倒し**で**308億円を達成**

※①バスケ業界全体(B.LEAGUE（リーグ・クラブの合計）とJBAの合計)
※②目標：2020-21シーズン終了時営業収入300億円

		2016年度 (2016-17シーズン)	2017年度 (2017-18シーズン)	2018年度 (2018-19シーズン)	昨対比
入場者数	全体	224万人	250万人	259万人	+3.6%
	B1	150万人	156万人	166万人	+6.3%
	B2	65万人	83万人	82万人	-1.8%
営業収入	全体	150億円	195億円	221億円	+13.2%
	B1	116億円	145億円	166億円	+14.5%
	B2	34億円	50億円	54億円	+9.7%
※参考数値	JBA/BLG/ Bクラブ合算 業界全体売上	218億円	273億円	308億円	+12.5%

※全体の入場者数にはALL STAR/POST SEASONを含む

01-2 決算数値_クラブ合計

- 営業収入は全体で **221億円**
- 営業収入は昨対比で **13.2%成長**

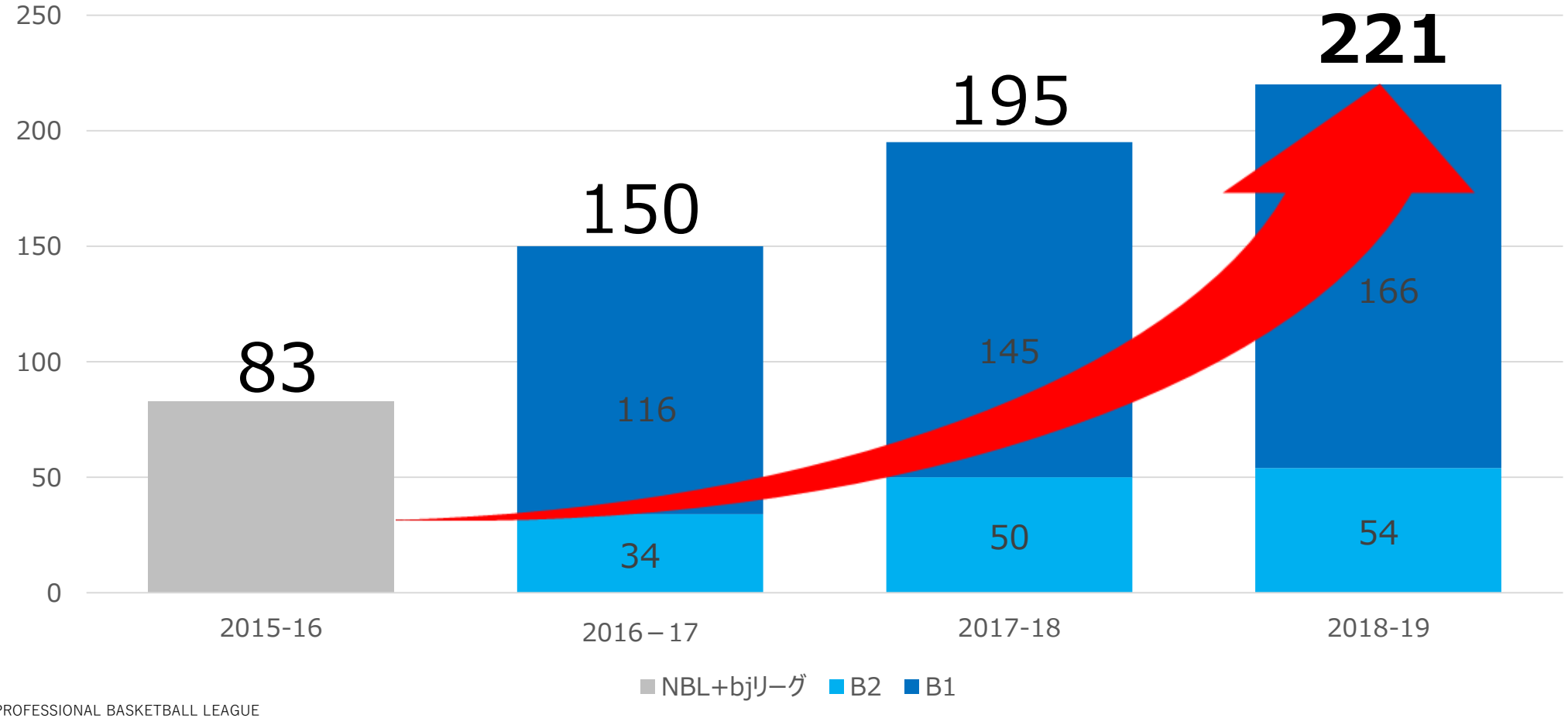
（単位　百万円）

	クラブ合計	2016年度 (2016-17シーズン)	2017年度 (2017-18シーズン)	2018年度 (2018-19シーズン)	昨対比
1	**営業収入**	**14,967**	**19,485**	**22,065**	**+13.2%**
2	入場料収入	3,353	4,224	4,830	+14.4%
3	スポンサー収入	7,807	10,403	11,402	+9.6%
4	その他	3,807	4,857	5,833	+20.1%
5	**営業費用**	**14,770**	**19,256**	**22,756**	**+18.2%**
6	トップチーム人件費	4,898	6,945	8,337	+20.0%
7	その他	9,872	12,310	14,419	+17.1%
8	**営業利益**	**197**	**228**	**▲691**	-
9	**当期純利益（▲損失）**	**8**	**521**	**▲634**	-

01-2 決算数値_クラブ合計

- Bリーグが開幕し、3年連続で営業収入は増加している。
- 昨期はクラブの営業収入の合計で200億円を超えた。
- B.LEAGUE発足前に比べて**2.7倍**の営業収入

単位：億円



01-3 決算数値_B1クラブ合計

- 営業収入はB1クラブ全体で **166億円**
- 営業収入は昨対比で **14.5%成長**
- 営業収入に対するトップチーム人件費の割合は **37.7%**

（単位　百万円）

	B1クラブ合計	2016年度 (2016-17シーズン)	2017年度 (2017-18シーズン)	2018年度 (2018-19シーズン)	昨対比
1	**営業収入**	**11,572**	**14,532**	**16,634**	**+14.5%**
2	入場料収入	2,529	3,154	3,675	+16.5%
3	スポンサー収入	6,240	7,679	8,438	+9.9%
4	その他	2,803	3,698	4,519	+22.2%
5	**営業費用**	**10,922**	**13,986**	**17,008**	**+21.6%**
6	トップチーム人件費	3,612	5,033	6,272	+24.6%
7	その他	7,310	8,952	10,736	+19.9%
8	**営業利益**	**650**	**545**	**▲374**	-
9	**当期純利益（▲損失）**	**451**	**378**	**▲423**	-

01-4 決算数値_B2クラブ合計

- 営業収入はB2クラブ全体で **54億円**
- 営業収入は昨対比は **9.7%成長**
- 営業収入に対するトップチーム人件費の割合は **38.0%**

（単位　百万円）

	B2クラブ合計	2016年度 (2016-17シーズン)	2017年度 (2017-18シーズン)	2018年度 (2018-19シーズン)	昨対比
1	**営業収入**	**3,395**	**4,952**	**5,431**	**+9.7%**
2	入場料収入	823	1,069	1,154	+8.0%
3	スポンサー収入	1,566	2,723	2,963	+8.8%
4	その他	1,006	1,159	1,313	+13.3%
5	**営業費用**	**3,847**	**5,269**	**5,748**	**+9.1%**
6	トップチーム人件費	1,285	1,912	2,064	+8.0%
7	その他	2,562	3,357	3,683	+9.7%
8	**営業利益**	**▲452**	**▲317**	**▲316**	-
9	**当期純利益（▲損失）**	**▲442**	**142**	**▲210**	-

01-5 決算数値_B1クラブ平均（18クラブ）

- 営業収入はB1クラブ平均で **9.2億円**
- 営業収入の昨対比は **14.5%成長**
- チーム人件費はB1クラブ平均で **3.5億円**

（単位　百万円）

	B1クラブ平均（18クラブ）	2016年度（2016-17シーズン）	2017年度（2017-18シーズン）	2018年度（2018-19シーズン）	昨対比
1	**営業収入**	**642**	**807**	**924**	**+14.5%**
2	入場料収入	140	175	204	+16.5%
3	スポンサー収入	346	426	468	+9.9%
4	その他	156	205	251	+22.2%
5	**営業費用**	**606**	**777**	**944**	**+21.6%**
6	トップチーム人件費	200	279	348	+24.6%
7	その他	406	497	596	+19.9%
8	**営業利益**	**36**	**30**	**▲20**	-
9	**当期純利益（▲損失）**	**25**	**21**	**▲23**	-

01-6 決算数値_B2クラブ平均（18クラブ）

- 営業収入はB2クラブ平均で **3.0億円**
- 営業収入の昨対比は **9.7%成長**
- チーム人件費はB2クラブ平均で **1.1億円**

（単位　百万円）

	B2クラブ平均（18クラブ）	2016年度（2016-17シーズン）	2017年度（2017-18シーズン）	2018年度（2018-19シーズン）	昨対比
1	**営業収入**	**188**	**275**	**301**	**+9.7%**
2	入場料収入	45	59	64	+8.0%
3	スポンサー収入	87	151	164	+8.8%
4	その他	56	64	72	+13.3%
5	**営業費用**	**213**	**292**	**319**	**+9.1%**
6	トップチーム人件費	71	106	114	+8.0%
7	その他	142	186	204	+9.7%
8	**営業利益**	**▲25**	**▲17**	**▲17**	-
9	**当期純利益（▲損失）**	**▲24**	**7**	**▲11**	-

01-7 決算数値_クラブ別営業収入 （B1）

- トップはB1で千葉の **17.6億円**
- 営業収入12億円超のクラブは **5クラブ**

（単位 百万円）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	金額
1	大阪	1,169
2	栃木	1,025
3	川崎	954
4	千葉	928
5	三河	829
6	琉球	810
7	A東京	670
8	横浜	607
9	三遠	590
10	秋田	583

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		金額
1	千葉	↑54%	1,427
2	三河	—	1,346
3	大阪	↑ 6%	1,244
4	栃木	↑17%	1,200
5	A東京	—	1,163
6	川崎	—	1,123
7	琉球	↑20%	973
8	SR渋谷	—	786
9	名古屋D	—	720
10	横浜	↑17%	712

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		金額
1	千葉	↑23%	1,761
2	三河	↑20%	1,622
3	A東京	↑18%	1,377
4	宇都宮	↑14%	1,370
5	大阪	↑10%	1,363
6	琉球	↑15%	1,117
7	名古屋D	↑30%	933
8	横浜	↑14%	811
9	北海道	↑37%	790
10	SR渋谷	↓-6%	739

01-8 決算数値_クラブ別営業収入 （B2）

- トップはB2で広島の **4.8億円**

（単位　百万円）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	金額
1	島根	306
2	広島	273
3	FE名古屋	250
4	奈良	242
5	熊本	221
6	信州	209
7	青森	205
8	福島	192
9	群馬	184
10	岩手	179

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		金額
1	秋田	↑ 5%	611
2	広島	↑ 49%	406
3	福岡	ー	368
4	FE名古屋	ー	361
5	仙台	↓ -25%	333
6	山形	↑127%	331
7	茨城	↑ 76%	314
8	熊本	↑ 37%	304
9	東京Ｚ	↑ 60%	262
10	奈良	↓ -7%	224

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		金額
1	広島	↑17%	475
2	島根	↑11%	456
3	熊本	↑47%	445
4	茨城	↑40%	441
5	仙台	↑28%	425
6	FE名古屋	↑8%	388
7	信州	↑59%	329
8	西宮	↑12%	310
9	山形	↓ -7%	308
10	奈良	↑16%	259

01-9 決算数値_クラブ別入場料収入トップ10（B1）

- トップはB1で宇都宮の **4.3億円**

（単位　百万円）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	金額
1	千葉	281
2	栃木	272
3	琉球	228
4	秋田	176
5	A東京	175
6	北海道	143
7	仙台	142
8	横浜	120
9	SR渋谷	120
10	富山	117

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		金額
1	千葉	↑22%	342
2	栃木	↑23%	336
3	琉球	↑27%	291
4	SR渋谷	ー	205
5	A東京	ー	200
6	北海道	↑34%	192
7	川崎	ー	175
8	新潟	↑58%	161
9	横浜	↑31%	157
10	富山	↑21%	142

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		金額
1	宇都宮	↑29%	433
2	千葉	↑22%	416
3	琉球	↑22%	355
4	A東京	↑25%	250
5	北海道	↑18%	226
6	SR渋谷	↑ 5%	216
7	川崎	ー	208
8	新潟	↑23%	198
9	秋田	↓ -4%	170
10	三河	↑20%	166

01-10 決算数値_クラブ別入場料収入トップ10（B2）

- トップはB2で熊本の **1.4億円**

（単位　百万円）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	金額
1	島根	100
2	広島	79
3	奈良	72
4	熊本	72
5	信州	59
6	西宮	52
7	青森	47
8	愛媛	47
9	福島	39
10	東京Ｚ	36

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		金額
1	秋田	↑0.5%	176
2	広島	↑ 39%	110
3	仙台	↓-28%	101
4	熊本	↑ 20%	86
5	愛媛	↑ 24%	58
6	奈良	↓-23%	55
7	信州	↓ -7%	55
8	茨城	↑ 63%	51
9	FE名古屋	ー	49
10	福岡	ー	47

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		金額
1	熊本	↑ 67%	143
2	広島	↑ 15%	126
3	仙台	↑ 13%	115
4	島根	↓-14%	105
5	信州	↑ 78%	98
6	茨城	↑ 58%	81
7	愛媛	↑ 18%	69
8	奈良	↑ 18%	65
9	西宮	↓-40%	56
10	東京Z	↓ -5%	43

01-11　決算数値_クラブ別スポンサー収入トップ10（B1）

- トップはB1で三河の **9.8億円**

（単位　百万円）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	金額
1	大阪	711
2	三河	698
3	川崎	639
4	千葉	417
5	名古屋D	408
6	A東京	390
7	栃木	377
8	琉球	365
9	横浜	308
10	三遠	305

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		金額
1	三河	―	894
2	A東京	―	814
3	大阪	↓ -6%	666
4	千葉	↑59%	663
5	川崎	―	645
6	名古屋D	―	550
7	SR渋谷	―	510
8	栃木	↑18%	443
9	琉球	↑13%	413
10	横浜	↑18%	362

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		金額
1	三河	↑10%	982
2	A東京	↑ 8%	878
3	千葉	↑17%	776
4	名古屋D	↑29%	712
5	大阪	↓ -2%	650
6	琉球	↑13%	467
7	宇都宮	↑ 5%	467
8	横浜	↑25%	455
9	SR渋谷	↓-13%	446
10	三遠	↑ 2%	366

01-12 決算数値_クラブ別スポンサー収入トップ10（B2）

- トップはB2でFE名古屋の **2.9億円**

（単位　百万円）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	金額
1	FE名古屋	207
2	岩手	132
3	群馬	116
4	青森	107
5	島根	103
6	熊本	99
7	茨城	96
8	奈良	90
9	福島	87
10	信州	80

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		金額
1	秋田	↑12%	303
2	FE名古屋	ー	274
3	福岡	ー	273
4	山形	↑300%	208
5	広島	↑130%	182
6	仙台	↓-9%	161
7	茨城	↑66%	160
8	東京Z	↑200%	148
9	熊本	↑50%	148
10	福島	↑26%	110

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		金額
1	FE名古屋	↑7%	294
2	茨城	↑60%	256
3	広島	↑35%	246
4	島根	↑50%	234
5	熊本	↑36%	201
6	仙台	↑19%	192
7	八王子	ー	179
8	山形	↓-15%	177
9	西宮	↑59%	169
10	信州	↑60%	161

01-13 決算数値_トップチーム人件費トップ10（B1）

- トップはB1でA東京の **7.6億円**

（単位　百万円）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	金額
1	千葉	369
2	栃木	367
3	A東京	327
4	三河	325
5	琉球	230
6	名古屋D	224
7	川崎	221
8	三遠	187
9	大阪	179
10	秋田	177

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		金額
1	A東京	ー	519
2	栃木	↑30%	478
3	千葉	↑26%	466
4	川崎	ー	409
5	三河	ー	407
6	琉球	↑42%	328
7	名古屋D	ー	291
8	SR渋谷	ー	286
9	大阪	↑50%	269
10	島根	↑63%	215

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		金額
1	A東京	↑46%	756
2	千葉	↑25%	583
3	宇都宮	↑ 8%	517
4	琉球	↑45%	474
5	三河	↑ 5%	427
6	名古屋D	↑23%	359
7	SR渋谷	↑18%	337
8	福岡	↑61%	328
9	川崎	ー	314
10	大阪	↑14%	308

01-14 決算数値_トップチーム人件費トップ10（B2）

- トップはB2で島根の **2.2億円**

（単位　百万円）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	金額
1	島根	132
2	広島	110
3	西宮	100
4	熊本	88
5	群馬	79
6	山形	77
7	福島	73
8	愛媛	65
9	信州	63
10	茨城	62

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		金額
1	秋田	↑ 21%	214
2	福岡	–	204
3	広島	↑ 41%	155
4	熊本	↑ 44%	127
5	FE名古屋	–	125
6	仙台	↑ 3%	117
7	群馬	↑ 35%	107
8	茨城	↑ 66%	103
9	福島	↑ 31%	96
10	山形	↑ 22%	95

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		金額
1	島根	↑ 2%	220
2	広島	↑17%	182
3	茨城	↑67%	172
4	熊本	↑34%	170
5	八王子	–	156
6	FE名古屋	↑ 9%	135
7	仙台	↑ 6%	123
8	信州	↑35%	106
9	西宮	↓-12%	99
10	山形	↓ -1%	94

01-15 決算数値_入場者数トップ10（B1）

- トップはB1で千葉の **15.6万人**
- 平均入場者数4,000人超のクラブは**2クラブ：千葉・宇都宮**

※入場者数にPOST SEASONを含めない
（単位　人）

2016年度(2016-17シーズン)

	クラブ名	人数
1	千葉	135,101
2	栃木	100,672
3	琉球	99,615
4	秋田	91,731
5	新潟	90,412
6	横浜	90,277
7	北海道	83,866
8	大阪	83,078
9	名古屋D	81,077
10	三河	75,023

2017年度(2017-18シーズン)

	クラブ名		人数
1	千葉	↑15%	155,894
2	北海道	↑34%	112,285
3	栃木	↑ 9%	109,594
4	琉球	↑ 1%	100,317
5	横浜	↑ 3%	93,074
6	新潟	↑ 3%	92,750
7	川崎	↑25%	91,677
8	大阪	↑ 9%	90,221
9	三河	↑15%	85,987
10	富山	↑10%	81,927

2018年度(2018-19シーズン)

	クラブ名		人数
1	千葉	↑0.1%	156,125
2	宇都宮	↑10%	120,122
3	川崎	↑21%	111,025
4	北海道	↓ -3%	109,111
5	琉球	↓ -2%	98,344
6	新潟	↑ 6%	97,966
7	秋田	↑11%	96,811
8	大阪	↑ 5%	94,509
9	富山	↑14%	93,633
10	横浜	↓-0.2%	92,900

01-16 決算数値_入場者数トップ10（B2）

- トップはB2で仙台の **7.7万人**

※入場者数にPOST SEASONを含めない
（単位　人）

2016年度(2016-17シーズン)		
	クラブ名	人数
1	熊本	63,270
2	広島	55,842
3	青森	51,902
4	山形	47,147
5	島根	45,107
6	信州	38,234
7	群馬	36,350
8	福島	35,275
9	奈良	32,657
10	東京Z	32,654

2017年度(2017-18シーズン)			
	クラブ名		人数
1	秋田	↓ -5%	86,900
2	仙台	↓-11%	64,566
3	熊本	↑ 2%	64,527
4	広島	↑ 5%	58,377
5	福岡	–	51,519
6	山形	↑ 9%	51,382
7	FE名古屋	↑81%	48,143
8	茨城	↑52%	47,757
9	青森	↓ -8%	47,600
10	福島	↑23%	43,219

2018年度(2018-19シーズン)			
	クラブ名		人数
1	仙台	↑ 19%	77,019
2	熊本	↑ 19%	76,760
3	広島	↑ 17%	68,405
4	島根	↓-19%	59,716
5	茨城	↑ 18%	56,374
6	山形	↓ -3%	49,758
7	信州	↑ 17%	48,774
8	青森	↓-13%	41,304
9	東京Z	↓ -4%	40,542
10	FE名古屋	↓17%	40,098

02

クラブ決算数値の分析

02-1　決算分析_クラブ別入場料収入／営業収入　トップ10

- 営業収入に占める入場料収入の割合
  トップはB1**新潟**の**32.0%**、B2**愛媛**の**34.4%**

※6月決算以外のクラブ含む

	クラブ名（B1）	割合
1	新潟	32.0%
2	琉球	31.9%
3	宇都宮	31.7%
4	富山	31.4%
5	川崎	31.4%
6	SR渋谷	29.3%
7	北海道	28.7%
8	秋田	25.1%
9	千葉	23.6%
10	滋賀	23.4%

	クラブ名（B2）	割合
1	愛媛	34.4%
2	熊本	32.3%
3	信州	29.9%
4	仙台	27.1%
5	広島	26.6%
6	奈良	25.4%
7	島根	23.2%
8	青森	19.6%
9	群馬	19.4%
10	福島	18.6%

02-2 決算分析_クラブ別スポンサー収入／営業収入 トップ10

- 営業収入に占めるスポンサー収入の割合
  トップはB1**名古屋D**の**76.3%**、B2**八王子**の **77.8%**

※6月決算以外のクラブ含む

	クラブ名（B1）	割合
1	名古屋D	76.3%
2	A東京	63.7%
3	三河	60.6%
4	SR渋谷	60.3%
5	京都	59.7%
6	福岡	59.7%
7	横浜	56.1%
8	三遠	52.1%
9	大阪	47.7%
10	滋賀	47.7%

	クラブ名（B2）	割合
1	八王子	77.8%
2	FE名古屋	75.9%
3	金沢	70.1%
4	茨城	58.0%
5	山形	57.7%
6	群馬	56.8%
7	福島	54.9%
8	東京Z	54.8%
9	西宮	54.5%
10	青森	53.9%

02-3 決算分析_クラブ別選手1人あたりの営業収入 トップ10

- トップはB1**千葉**の**135百万円**、B2**広島**の**43百万円**

※2018-19シーズン開幕時点の選手数で計算

（単位　百万円）

	クラブ名（B1）	金額
1	千葉	135
2	三河	135
3	A東京	114
4	大阪	104
5	宇都宮	97
6	琉球	93
7	名古屋D	77
8	北海道	60
9	横浜	57
10	SR渋谷	56

	クラブ名（B2）	金額
1	広島	43
2	仙台	35
3	島根	35
4	茨城	33
5	熊本	31
6	FE名古屋	29
7	信州	27
8	西宮	25
9	山形	23
10	奈良	23

02-4　決算分析_クラブ別選手1人あたりの入場者数トップ10

- トップはB1**千葉**の**12千人**、B2**仙台**の**6.4千人**

※2018-19シーズン開幕時点の選手数で計算

（単位　人）

	クラブ名（B1）	人数
1	千葉	12,010
2	川崎	9,252
3	宇都宮	8,580
4	富山	8,512
5	北海道	8,393
6	琉球	8,195
7	新潟	8,164
8	秋田	7,447
9	大阪	7,270
10	A東京	7,253

	クラブ名（B2）	人数
1	仙台	6,418
2	広島	6,219
3	熊本	5,483
4	島根	4,594
5	茨城	4,336
6	信州	4,065
7	山形	3,828
8	青森	3,755
9	東京Z	3,379
10	奈良	3,238

02-5 決算分析_1勝あたりのトップチーム人件費_勝数効率 トップ10

- トップはB1**新潟**の**4.7百万円**、B2**群馬**の**2百万円**

（単位　百万円）

	クラブ名（B1）	金額
1	新潟	4.7
2	滋賀	5.2
3	京都	7.2
4	富山	7.8
5	川崎	7.8
6	名古屋D	8.9
7	宇都宮	10.5
8	千葉	11.2
9	SR渋谷	12.5
10	三遠	12.9

	クラブ名（B2）	金額
1	群馬	2.0
2	信州	2.2
3	西宮	2.9
4	仙台	3.0
5	福島	3.1
6	奈良	3.2
7	FE名古屋	3.3
8	香川	3.3
9	東京Z	3.4
10	青森	3.7